

安全データシート

【GHS9版, JIS Z7252(2025), JIS Z7253(2025)準拠】

1. 製品及び会社情報

整理番号	: KI109-03
製品名	: ファインセーブフロアブル
会社名	: クミアイ化学工業株式会社
住所	: 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門	: サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	: 03-3822-5180
FAX番号	: 03-3823-6830
ホームページ	: https://www.kumiai-chem.co.jp/
緊急連絡先	: 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3823-6830)
推奨用途	: 農薬(最終有効年月まで)
使用上の制限	: 推奨用途以外への使用を禁ずる。

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉じん)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分に該当しない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(卵巣)* 区分2(下垂体、子宮、腎臓)*

*経口経路でのデータに基づく分類区分である。

安全データシート

誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」か「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険性有害性情報

- H302: 飲み込むと有害。
H372: 長期にわたる、又は反復ばく露による卵巣の障害。
H373: 長期にわたる、又は反復ばく露による下垂体、子宮、腎臓 の障害のおそれ。
H400: 水生生物に非常に強い毒性。
H411: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

【安全対策】

- P264: 取扱い後は手及び口をよく洗うこと。
P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P273: 環境への放出を避けること。

【応急措置】

- P301+P317+P330: 飲み込んだ場合気分が悪い時は医師に連絡すること。口をすすぐこと。
P319: 気分が悪いときは、医療措置を受けること。
P391: 漏出物を回収すること。

【保管】

- ・ 該当なし。

【廃棄】

- P501: 内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性

- ・ 情報なし。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

2-エチル-3,7-ジメチル-6-[4-(トリフルオロメキシ)フェノキシ]-4キノリル=メチル=カルボナート/一般名:フロメトキン(Flometoquin)

安全データシート

成分及び含有量		(W/W)
	フロメキン	10 %
	水、界面活性剤等	90 %
	合計	100 %

危険有害成分		(W/W)
	フロメキン	10 %
	プロピレングリコール	10 %
	ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ] -1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート	0.2 %

官報公示整理番号		
化審法	プロピレングリコール	2-234
	ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ] -1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート	2-1620、2-1623
CAS RN [®]	フロメキン	875775-74-9
	プロピレングリコール	57-55-6
	ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ] -1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート	577-11-7

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 多量の水でうがいし、気分が悪い時は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水および石鹸でよく洗い流す。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断/手当を受ける。 汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	清浄な水で15分間以上注意深く洗眼する。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医療処置を受けること。
急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状	情報なし。 情報なし。
応急措置をする者の保護	救助者はゴム手袋等、保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	特別な解毒剤は知られていない。 症候に基づく標準的対応をする。

安全データシート

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、アルコフォーム、霧状水

使ってはならない消火剤

冷却の目的で霧状水を用いても良いが、消火に棒状水を用いてはならない。

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

消火作業は、可能な限り風上から行う。

火災発生場所の周辺は、関係者以外の立ち入りを禁止する。速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可能な場合は、周辺又は容器に散水し、冷却する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう、適切な措置を行う。

消火活動を行う者の特別な保護具

消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。

及び予防措置

消火作業の際は、状況に応じて適切な保護具(消火服、保護眼鏡、手袋、ゴム長靴、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び

漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

緊急措置

風上から作業し、風下の人を避難させる。

作業者は状況に応じて適切な保護具を着用し、当該物の直接接触を避ける。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出したものは砂、土、その他の吸収材料を使用して流出を阻止し密閉できる容器に回収する。

危険でなければ漏れを止める。汚染された箇所は、布などで拭き取る。

二次災害防止策

おが屑のような可燃物は使用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄をおこなうための設備を設置し、位置を明確に表示すること。

安全取扱い注意事項:

全ての安全注意事項を読み理解するまで取扱わないこと。

保護眼鏡、保護手袋などの適切な保護具を着用すること。

容器の破損や容器からの漏洩に注意すること。みだりに粉じんを発生させないこと。

取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、蒸気やミストが発生する場合には、吸入を避け、皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼との接触を避けること。

安全データシート

エアロゾル・粉じんの発生防止策	取り扱う場合には、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所でおこなう。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後は手、顔、眼等を良く洗い、うがいをすること。
保管	
安全な保管条件	塩基性物質、酸性物質との混触を避け、火気、熱源より遠ざけること。 子供の手の届かない場所に保管すること。 施錠できる場所に容器を密栓して、冷暗所に保管する。食品や飼料と同じところに保管しないこと。
安全な容器包装材料	基本的には製品容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度(厚生労働省)	設定されていない。
許容濃度等	
日本産業衛生学会(2025年度)	設定されていない。
ACGIH(2025年版)	設定されていない。
設備対策	できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気又は全体換気装置のある場所を取扱う。 有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。 貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器、緊急用シャワー等の施設を設置し、位置を明確に表示すること。
保護具	保護具の選定にあたっては「皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル(2025年3月第2版厚生労働省)」を参考にする。
呼吸用保護具	JIS T 8150を参照し、作業に適する性能および構造の防じんマスク又は簡易防じんマスク、防毒マスク等を着用すること。
手の保護具	JIS T 8116を参照し、作業に適したゴム手袋等の不浸透性の化学防護手袋を着用すること。化学防護手袋の選定にあたっては、保護具メーカーから最新の情報を入手すること。
眼及び/又は顔面の保護具	JIS T 8147を参照し、作業状況に応じた適切な保護眼鏡(側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)又は保護面を使用すること。
皮膚及び身体の保護具	作業に適した作業着を着用する。作業状況により不浸透性の保護衣(化学防護服、化学防護長靴等)も着用し、選定にあたっては、化学防護服はJIS T 8115、化学防護長靴はJIS T 8117を参照する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	類白色
臭い	特になし

安全データシート

融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	該当せず
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
加水分解性	データなし
水中光分解性	データなし
pH	5.0～9.0(20℃)
動粘性率	データなし
溶解度	水に不溶。均一に分散する
n-オクタノール／水分配係数(Log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び又は相対密度(比重)	1.0～1.1(20℃)
粉じん爆発下限濃度	データなし
最小着火エネルギー(MIE)	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
酸化性	データなし
金属腐食性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	特に知られていない。
化学的安定性	通常の取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	特に知られていない。
避けるべき条件	光にあたると分解
混触危険物質	塩基性物質、酸性物質により加水分解を受ける。
危険有害な分解生成物	特に知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	
(経口)	ラットLD50 雌 300<LD50 ≤2000mg/kg (区分4)
(経皮)	ラットLD50 雌雄 >2000mg/kg (区分に該当しない)
(吸入:粉じん／ミスト)	ラットLC50 雄雌 >5.618mg/L (区分に該当しない)
皮膚腐食性／刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験において刺激性変化が認められないため、区分に該当しないとした。

安全データシート

眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験において結膜に極軽度の刺激性変化が認められたが、24時間までにすべて消失したことから、区分に該当しないとした。
呼吸器感作性	各成分とも情報がないため分類できないとした。
皮膚感作性	モルモットを用いた皮膚感作性試験(Buehler法)において、投与量100%で惹起開始24時間後及び48時間後に陽性反応が認められないため、区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性	フロメキン原体の復帰突然変異(S. typhimurium)、染色体異常及び小核誘発性が陰性であり、本製品中のその他の対象成分が区分に該当しないため、区分に該当しないとした。
発がん性	本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。
生殖毒性	本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。
授乳を介した影響	本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	フロメキン原体の分類に基づき、区分1(卵巣)、区分2(下垂体、子宮、腎臓)とした。
誤えん有害性	各成分とも情報がないため分類できないとした。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性	
短期(急性)	水生生物に対する毒性から区分1とした。
長期(慢性)	水生生物に対する毒性及び環境中における本製品の主要成分の消失が極めて速く、生物蓄積性も小さいと考えられることから、区分2とした。
水生生物に対する毒性	
魚類	コイ(<i>Cyprinus carpio</i>) LC ₅₀ (96時間)520 mg/L ニジマス(<i>Oncorhynchus mykiss</i>) LC ₅₀ (96時間)0.066 mg/L
甲殻類	オオミジンコ(<i>Daphnia magna</i>) 遊泳阻害EC ₅₀ (48時間)0.0015 mg/L
藻類	緑藻(<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>) 生長阻害EtC ₅₀ (0~72時間)720 mg/L 生長阻害NOECr (0~72時間)98 mg/L
陸上生物への有害性	
昆虫類	捕食性ダニ(<i>Typhlodromus pyri</i>) LR50 > 500 g a.i./ha (7日間) 寄生蜂(<i>Aphidius rhopalosiphii</i>)LR50 = 86.85 g a.i./ha (48時間)
残留性・分解性	光により急速に分解。
生体蓄積性	濃縮倍率 1.6~5.4 (フロメキン原体)
土壤中の移動性	情報なし。

安全データシート

オゾン層への有害性

情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

毒物及び劇物取締法に関する基準に従うこと。下水道、地面、いかなる水域にも投棄してはならない。

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の規定に従うこと。処分を委託する場合は、廃棄物の内容を明確にし、産業廃棄物処理業者に危険性、有害性を十分に告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器を3回洗浄する。その際、環境や水の汚染を避けること。空容器を再利用してはならない。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の規定に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。重量物を上積みしない。

国際規制

海上規制情報

IMDGの規定に従う。

航空規制情報

ICAO/IATAの規定に従う。

国連番号

UN3082

国連品名

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
(FLOMETOQUIN 10%SC)

国連危険有害性クラス

9 (有害性物質)

副次危険性

—

容器等級

III

海洋汚染物質

MARINE POLLUTANT

MARPOL73/78付属書2及び

—

IBCコードによるばら積み輸送される
液体物質

国内規制

陸上規制情報

道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法の規定に該当する場合は、それぞれの法律の規定に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。

空規制情報

航空法の規定に従った容器・包装、表示、積載・輸送方法により輸送する。

緊急時応急措置指針番号

171

安全データシート

15. 適用法令

労働安全衛生法

施行令第18条(表示対象物質)

プロピレングリコール(10%)(安衛則別表第2の1786)

施行令第18条の2(通知対象物質)

プロピレングリコール(10%)(安衛則別表第2の1786)

ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート(0.2%)(安衛則別表第2の1455)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当

毒物及び劇物取締法

劇物(2-エチル-3,7-ジメチル-6-[4-(トリフルオロメトキシ)フェノキシ]-4-キノリル=メチル=カルボナート及びこれを含有する製剤)(毒物及び劇物指定令第2条第1項13の4)

化学物質審査規制法(化審法)

優先評価化学物質 プロパン-1,2-ジオール(官報整理番号 2-234)

優先評価化学物質 ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート(官報整理番号 2-1620, 2-1632)

消防法

非該当(非危険物)

農薬取締法

該当(農林水産省登録第24070号)

船舶安全法

環境有害物質(液体)(危規則第2, 3条危険物告示別表第1)

航空法

その他の有害物件(液体、S-等級3)(施行規則第194条危険物告示別表第1)

港則法

環境有害物質(液体)

道路法

施行令第19条の13(通行制限物質)劇物

水質汚濁防止法

非該当

土壤汚染防止法

非該当

下水道法

非該当

大気汚染防止法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する

海洋汚染物質

法律

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

引用文献

安全データシート「ファインセーブフロアブル」

日本化薬株式会社 2025年4月1日改訂

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

また、記載事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、取扱い願います。

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

安全データシート

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1 件 2,000 円)は弊社が負担いたします。